

令和元年度全国高等学校総合体育大会 第69回全国高等学校スキー大会 要項

主 催 (公財) 全国高等学校体育連盟 (公財) 全日本スキー連盟
新潟県 新潟県教育委員会 妙高市 妙高市教育委員会

共 催 読売新聞社

後 援 スポーツ庁 (公財) 日本スポーツ協会 NHK
(公財) 新潟県スポーツ協会 妙高市スポーツ協会

主 管 (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部 新潟県高等学校体育連盟
(公財) 新潟県スキー連盟 NPO法人妙高高原スキー連盟

協 力 陸上自衛隊高田駐屯地 (第5施設群・第2普通科連隊)

- 1 期 日 令和2年2月3日(月)～7日(金)
- (1) 開会式 2月3日(月)
 - (2) 競 技 2月4日(火)～7日(金)
 - (3) 閉会式 2月7日(金)

- 2 会 場
- (1) 開会式 赤倉体育センター
 - (2) 競 技
 - アルペン 赤倉観光リゾートスキー場
 - クロスカントリー 赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
 - スペシャルジャンプ 妙高高原赤倉シャンツェ
 - ノルディック
 - コンバインド 妙高高原赤倉シャンツェ
 - 赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
 - (3) 閉会式 赤倉体育センター

3 種 目

男 子	・ ジャイアントスラローム ・ スラローム ・ クロスカントリー10km(クラシカル) ・ クロスカントリー10km(フリー) ・ スペシャルジャンプ(HS:100m) ・ ノルディックコンバインド(HS:100m, 10km) ・ リレー(10km×4人 1・2走クラシカル 3・4走フリー)
女 子	・ ジャイアントスラローム ・ スラローム ・ クロスカントリー5km(クラシカル) ・ クロスカントリー5km(フリー) ・ リレー(5km×3人 1走クラシカル 2・3走フリー) ・ スペシャルジャンプ(HS:100m) 公開競技 ・ ノルディックコンバインド(HS:100m, 5km) 公開競技

4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月2日 (日)	17:00	ジャンプ種目TCM	妙 高 高 原 メ ッ セ
2月3日 (月)	8:00	スペシャルジャンプ公式練習 ノルディックコンバインドジャンプ公式練習 ノルディックコンバインドジャンプ予備ラウンド (PCR)	妙 高 高 原 赤 倉 シ ャ ン ツ エ
	14:00	開 会 式	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
	16:00	クロスカントリー種目TCM	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
	16:00	男子ジャイアントスラロームTCM	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
2月4日 (火)	8:00	スペシャルジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	妙 高 高 原 赤 倉 シ ャ ン ツ エ
	9:00	男子ジャイアントスラローム	赤 倉 観 光 リ ゾ ー ト ス キ ー 場
	9:30	女子クロスカントリー 5km (フリー)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	13:00	男子クロスカントリー 10km (フリー)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	17:00	女子ジャイアントスラロームTCM	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
2月5日 (水)	8:00	ノルディックコンバインドジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	妙 高 高 原 赤 倉 シ ャ ン ツ エ
	9:00	女子ジャイアントスラローム	赤 倉 観 光 リ ゾ ー ト ス キ ー 場
	9:30	女子クロスカントリー 5km (クラシカル)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	13:30	女子ノルディックコンバインドクロスカントリー5km (フリー) (公開競技)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	14:00	男子ノルディックコンバインドクロスカントリー10km (フリー)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	17:00	男子スラロームTCM	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
2月6日 (木)	9:00	男子スラローム	赤 倉 観 光 リ ゾ ー ト ス キ ー 場
	9:30	男子クロスカントリー 10km (クラシカル)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	17:00	女子スラロームTCM	赤 倉 体 育 セ ン タ ー
2月7日 (金)	9:00	女子スラローム	赤 倉 観 光 リ ゾ ー ト ス キ ー 場
	9:30	女子リレー (5km×3人)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	11:30	男子リレー (10km×4人)	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
	15:30	閉 会 式	赤 倉 体 育 セ ン タ ー

5 競技規則

(公財) 全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

6 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、（公財）全日本スキー連盟に会員登録と競技者登録（SAJデータバンク登録者一覧に記載された者）を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2000年（平成12年）4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ず）。但し、一家転住など、やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ① 上記（1）、（2）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
 - ② 上記（3）の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ① 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重する。
 - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - ④ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ① 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会参加申合事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン種目及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし、補欠は両種目とも1名とする。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディック コンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは1チームとする。（男子は6名連記、女子は5名連記）また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 令和元年度都道府県種目別出場人員枠を別表1のとおりに制限する。
- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
- (4) （公財）全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、「様式9参加承諾願（海外特別枠）」を都道府県高体連スキー専門部に提出し手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる。但し、この場合は、補欠選手との交代はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であって各校出場枠外にあった場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる（各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない）。
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があった場合は、繰り上げランキングとする。
- (8) 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の16時まで大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目においてはチーム キャプテン ミーティングで連絡する。クロスカントリー種目の当該校には電話又はFAXで連絡する。併せて、大会実行委員会ウェブサイト及び公式掲示板で告知する。
- (9) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。
- (10) 女子ジャンプ種目（公開競技）においては、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得るものとする。

9 抽 選

- (1) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (2) ① 海外派遣等の選手を海外特枠選手として出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。
② ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディック コンバインド）において、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。
- (3) 抽選は、令和2年1月22日（水）午前10時から妙高市実行委員会事務局において行う。抽選責任者は、（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部とし、参加チーム代表者は希望によって立ち会うことができる。なお、抽選については、（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部細則による。
- (4) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ① アルペン種目は6グループに、ノルディック種目（リレーは除く）は4グループに区分する。
 - ② ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。
 - ③ アルペン種目においては、前年度入賞者と第1グループ内のSAJポイント上位を含めた15名を特別グループとする。
 - ④ 各グループ別人数については、別表2により区分する。
 - ⑤ （公財）全日本スキー連盟推薦による海外特別枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目については第4グループの後に位置し、それが複数の場合は抽選でスタート番号を決める。

(5) 出発順は次のとおりとする。

- ① クロスカントリー種目（リレーは除く）は、第3、第4、第2、第1グループ順を原則とする。
- ② ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4グループ順を原則とする。
- ③ ノルディック コンバインド クロスカントリー10kmはグンダーセン方式とする。
- ④ アルペン種目は男女とも各グループ内でポイント順とし、第1グループ内の特別グループ選手（15名）及び各グループ内のノーポイントの選手においては、抽選により出発順を定める。

(6) 補欠選手との入れ替え

正選手と補欠選手の入れ替えは、スタート番号を変えずに正選手のスタート番号にて補欠選手をスタートさせる。

10 採点方法

(1) 入賞得点は次のとおりとする。女子ジャンプ種目（公開競技）は点数計算に入らない。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし、該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。

(3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数（3位まで）により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。

(4) 総合の2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。

(5) 前項9抽選（2）に示す選手の出場で、1校4名以上の出場となった場合の得点対象はあらかじめ指定した3名のみとし、対象外者の得点は次位者に与える。

11 表 彰

(1) 総合の部

- ① 優勝校には、男女とも（公財）全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。（持ち回りとする）
- ② 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- ③ 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
- ④ 表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。
- ② 男女とも各種目3位まで（公財）全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、赤倉体育センターで行う。（16時00分頃の予定）
- ④ 競技最終日の表彰は、赤倉体育センターにおいて、閉会式前に行う。
- ⑤ 女子ジャンプ種目（公開競技）は、（公財）全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

12 参加申込

(1) 申込書類

- | | |
|---|-------------|
| ① 大会参加申込通知書 | (様式1) |
| ② 都道府県選手団役員編成表 | (様式2) |
| ※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各1名とする。 | |
| ③ 種目別参加申込書 | (様式3A・3N) |
| ④ 都道府県別リレー参加申込書 | (様式3R) |
| ⑤ 学校別出場認知書【男女別とする】 | (様式4) |
| ※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ3名以内とする。 | |
| また、競技者登録番号の記入のないものは受け付けない。 | |
| ⑥ 都道府県選手団 宿泊申込書 | (様式5) |
| ⑦ 学校別 宿泊申込書 | (様式6) |
| ⑧ 都道府県役員 宿泊申込書 | (様式7) |
| ⑨ 視察申請及び宿泊申込書【視察員を派遣する都道府県のみ】 | (様式8) |
| ⑩ 都道府県予選会の公式記録(リザルト) | 1部 |
| (リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること) | |
| ⑪ 参加承諾願(海外特別枠) | (様式9) 写し |

(2) 申込方法

① 大会事務局の業務

ア 大会要項及び参加申込書は、各都道府県高体連事務局へ送付し、大会ウェブサイトにも掲載する。

イ 全ての書類を受理した後、受理完了の電子メールを各都道府県申込責任者へ送信する。

② 各参加校の業務(第69回大会の様式を使用すること)

下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者へ提出する。

(様式4) 学校別出場認知書

※選手氏名の漢字、学年、生年月日、SAJ競技者番号などを確認する。

(様式6) 学校別宿泊申込書

③ 各都道府県申込責任者(各都道府県専門委員長)の業務

ア 上記(1)の申込書類を作成及び取りまとめる。

(様式3A)(様式3N) 種目別参加申込書

(様式3R) 都道府県別リレー参加申込書

※選手氏名の漢字、学年、SAJ競技者番号などを確認する。

また、(別表1)都道府県出場枠、(別表2)抽選グループ別人数を照らし合わせ、枠数、グループについても確認する。

イ 申込期限までに、全ての書類を下記申込先に電子メールを送信及び郵送する。

※(様式1)、(様式4)、(様式9)写しの公印及び公式記録のサインの有無を確認する。

ウ 申込書類{(様式1)、(様式4)、公式記録、(様式9)写し}の送付は、「簡易書留速達」とし、封筒には「大会申込書在中」と朱書きする。

エ 参加料・プログラム代金(合計金額)の送金は、「銀行振込」とする。振込金受領書のコピーは申込書類とともに事務局に郵送するか、第2回全国委員会に持参し事務局に提出する。

※振込人には、「都道府県名 氏名」のように、必ず都道府県名を明記する。

オ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。

カ 申し込み後の選手(補欠を含む)の変更は認めない。

(3) 申 込 先

●メール送信宛先

下記送信先の両方を宛先に設定し、送信してください。

○第69回全国高等学校スキー大会妙高市実行委員会事務局

E-mail: 69ski@city.myoko.niigata.jp

FAX: 0255-86-5315

○(一社)妙高ツーリズムマネジメント第69回全国高等学校スキー大会宿泊係

E-mail: interhigh2020@myokotm.com

FAX: 0255-86-3450

●(様式1) (様式4)の郵送先

〒949-2106

新潟県妙高市大字田口33番地

妙高高原メッセ内

第69回全国高等学校スキー大会妙高市実行委員会事務局

FAX: 0255-86-5315

(4) 申込期限

参加申込書類一式: 令和2年1月20日(月)正午 必着

(5) 参 加 料 (選手のみ、女子公開競技選手も含む)

個 人: 1種目4,000円

リレー: 男子1チーム8,000円、女子1チーム6,000円

【※参加申し込みと同時に納入する】

(6) プログラム

プログラムは、参加校に男女各1部を無料配付する。その他は実費で販売する。

代金は1部1,000円とし、申込みと同時に参加料と合わせて納入する。

(7) 振込先

金融機関名	北越銀行 古町支店
店番号	280
普通口座	2114048
口座名義	第69回全国高等学校スキー大会新潟県実行委員会
	会長 玉木正己

13 宿 泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、宿泊要項を参照のこと。

14 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて医療機関まで輸送する。
以後は、各学校で処置するものとする。

15 注意事項

- (1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) 都道府県選手団代表者は、大会実施本部で受付を済ませること。

なお、受付は令和2年1月30日（木）からとする。（9:00～16:30）

16 実行委員会事務局及び大会実施本部

(1) 新潟県実行委員会

〒950-0948
新潟県新潟市中央区女池南3-6-1
新潟江南高等学校内
新潟県高体連事務局
TEL 025-283-0358
FAX 025-283-0358
E-mail kotairen@leaf.ocn.ne.jp
Web Site <https://69ski-interhigh.com>

(2) 妙高市実行委員会 大会実施本部

〒949-2106
新潟県妙高市大字田口33番地
妙高高原メッセ内
第69回全国高等学校スキー大会妙高市実行委員会事務局
TEL 0255-86-5311
FAX 0255-86-5315
E-mail 69ski@city.myoko.niigata.jp
Web Site <https://69ski-interhigh.com>

17 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

- (1) 大会プログラムや掲示板等に掲載され、競技場内でアナウンスされることがある。また、大会関係ウェブサイトに掲載されることがある。
- (2) 本大会実行委員会に認められた報道関係機関が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。
- (3) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはない。参加申込書の提出により、上記取扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。また、大会役員、競技役員、大会関係者及び会場に来られる観客の皆様についてもこれに準ずる。